

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	放置自転車等対策事業		
事業担当	市民部 暮らし安全課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働: _____】		
	目的・目標		事業の概要
駅周辺の自転車放置禁止区域において、自転車の整理、撤去を行うことにより、安全な歩行空間が確保されています。		自転車などの放置防止のため、放置自転車等クリーンキャンペーンなどの啓発活動と放置自転車等に対する指導と撤去を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	放置自転車等防止キャンペーン開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	実績	4	6	24		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	実績					
成果指標①	指標名	放置自転車数			単位	台
	説明・算定式	中心市街地、1日当たり				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	実績	1502	1415	1342		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
<p>駅西口第1駐輪場や駅前大通り線東・西駐輪場を供用開始し、これらの利用促進を図りながら、自転車放置禁止区域において、放置自転車に対して警告・指導・撤去を359日実施し、放置自転車を7,028台撤去しました。また、キャンペーン等を通して自転車利用者への適正な駐輪の周知と安全な歩行空間を確保しました。</p>						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「平塚市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき指定している自転車等放置禁止区域及び周辺においては、防災上及び歩行空間の確保や景観向上の観点からも駐輪指導や撤去が必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	駅周辺の生活環境の向上を図るため、強化・継続して事業を実施することは有効性が高いものと考えます。また継続して実施することが有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	駅周辺の生活環境整備向上のためには欠かせませんが、さらなる駐輪指導や撤去の強化が必要です。放置自転車等保管料を平成24年4月から徴収するとともに、原動機付自転車についても撤去の対象とします。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	現在市が管理している無料自転車等駐車場について、(公財)平塚市文化スポーツまちづくり振興財団に当該用地を貸与し、同財団で駐車場施設の整備と管理運営を行う方式を進める必要があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		自転車等駐車場整備を進めるとともに、自転車利用マナーの向上を図り、放置自転車等の撤去徹底を行っていく必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		放置自転車の整理・撤去、キャンペーン実施	放置自転車の整理・撤去、キャンペーンの実施	放置自転車の指導・撤去、キャンペーン実施	放置自転車等の指導・撤去、キャンペーンの実施、駐輪場導入路の整備
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	12,000
	その他 特財	0	890	897	17,481
	一般財源	47,519	42,709	43,766	47,218
事業費 (A)		47,519	43,599	44,663	76,699
執行率 (%)		98.64	85.16	93.11	
内訳	職員 (人)	0.75	1.00	2.45	2.10
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		6,267	8,259	19,855	16,832
フルコスト (A+B)		53,786	51,858	64,518	93,531

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	自転車利用マナー向上の啓発事業を継続するとともに、放置自転車等保管料の徴収を実施するほか、放置自転車等の撤去強化を図るため、効果的な撤去方法を検討し、実施します。
課長コメント	駅周辺の放置自転車を解消し、良好な都市景観や安全な歩行空間を確保するため、「平塚駅周辺の駐輪対策について」に則り総合的な放置自転車対策を進める必要があります。